

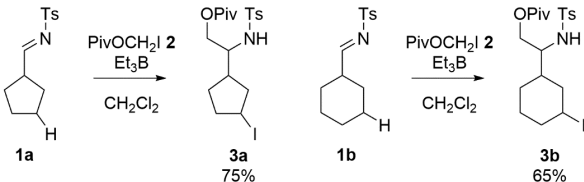
## 26C-am09

N-トシルイミンへのラジカル付加反応に続く C(sp<sup>3</sup>)-H ヨウ素化反応

○藤井 晋太郎<sup>1</sup>, 仲野 真由<sup>1</sup>, 山岡 庸介<sup>1</sup>, 高須 清誠<sup>1</sup>, 山田 健一<sup>1</sup>, 富岡 清<sup>2</sup> (<sup>1</sup>京大院薬,  
<sup>2</sup>同志社女大薬)

【目的】ヨードメチルエステル類から発生させたアシロキシメチルラジカルのイミンへの付加反応をすでに報告した<sup>1)</sup>。今回、イミンへのラジカル付加反応によって生じるアミノラジカルが活性化学種であることに着目し、連続的 C(sp<sup>3</sup>)-H 修飾反応へ展開した。

【結果】シクロペンタン環、シクロヘキサン環を持つイミン **1a** もしくは **1b** とピバル酸ヨードメチル **2** のジクロロメタン溶液にトリエチルホウ素を加え 6 時間反応させると、イミンがアシロキシメチル化されるとともにシクロアルカン環上の炭素がヨウ素化された **3a**, **3b** がそれぞれ 75%、65%収率で得られた。



1) a) Yamada, K.; Nakano, M.; Maekawa, M.; Akindele, T.; Tomioka, K. *Org. Lett.* **2008**, *10*, 3805–3808. b) Yamada, K.; Konishi, T.; Nakano, M.; Fujii, S.; Cadou, R.; Yamamoto, Y.; Tomioka, K. *J. Org. Chem.* **2012**, *77*, 1547.